

令和3年度 北広島市市民協働推進事業  
公開プレゼンテーション及び事業報告会の内容及び質疑

日時	令和3年8月6日(金) 18:30~19:30
会場	北広島市役所3階 会議室3D
出席委員	橋功記委員、山口規子委員、川辺栄子委員、高嶋良平委員、原口淑子委員
傍聴者	0名
市出席者	【市民環境部】高橋部長 【市民参加・住宅施策課】山田課長、畠山主任、兼田主事 【教育部エコミュージアムセンター】丸毛センター長

1. 開会

2. 市民環境部長挨拶

3. 市民協働推進委員及び事務局の紹介

4. 事業報告会

《令和2年度申請 公益活動事業補助金利用1団体から発表》

■北広島市の高齢化の現状と高齢社会におけるまちづくりに関する事業

「北海道地域政策調査会」による発表

《質疑応答》

○ C委員

この企画は一回にとどまらず二回目、三回目とやる予定はありますか。

- 実施したいと考えているが、新しい事業としての取り組む予定はないです。

○ B委員

高齢化が進む中、常に課題として取りあげなければならない問題なのでとても良い事業だとおもいます。実感として、やってみて一番これが良かったというものは何ですか。

- 今はテレワークや動画配信といった新しい時代になっている。高齢社会の中で、ITの活用、パソコンを使っていくことが必要であり、対応できるような人材を作っていくことが大切だと思っています。

○ D委員

高齢社会におけるまちづくりということですが、私は0歳と二歳半の子供がいます。子供の教育に携わることが多くなってくると、保育士の数だったり、子供の教育で人手不足といった問題を抱えているかと思いますが、そこに高齢者の方の何か力が加われば、まちづくりとしてよい感じに成立するのではないのでしょうか。

令和3年度 北広島市市民協働推進事業  
公開プレゼンテーション及び事業報告会の内容及び質疑

---

- 高齢化といった問題がひとつありますけど、子供たちの教育をどうするか、少子化対策をどうするかということが極めて重要だと思います。今の世代の人たちは少子化対策をしっかりやっていくということでテレワークだとか新しいまちづくりをやっていかなければと思っています。

○ E委員

とても良いシンポジウムだったと思いますが、このシンポジウムの内容は、終わった後何か記録集だったり多くに発信したりしていますか。

- インターネットで見れるようにしました。

○ A委員

会場参加者が55名、ウェブ参加者が60名となっていますが、参加者の年齢構成は。

- 残念ながらわかりかねますが、ウェブ参加の方につきましては50～60歳くらいの方に見ていただけたのかなと考えています。

○ A委員

アンケート等はとっていないのですか。

- 参加者からは意見をいただいて皆さんに公表していますが、ウェブで参加の方については取っていないのが現状です。今後の課題と考えています。

5. 公開プレゼンテーション

〈協働事業提案制度提案1団体、公益活動事業補助金申請1団体から発表から発表〉

■クラーク精神普及事業

「クラーク博士別れの地・久蔵の里普及促進会」による発表

〈質疑応答〉

○ D委員

小中学生が講演を聞いた後に、今、話を聞いて大志や目標をもったのかどうかアンケート等ありましたか。

- 講演を聞いたからすぐに大志を持ったとはなりませんが、生徒・児童からは、夢を持たなければいけないという気持ちを懐いたといった感想をいただきました。

○ A委員

## 令和3年度 北広島市市民協働推進事業 公開プレゼンテーション及び事業報告会の内容及び質疑

事業の具体的な中身について伺いたいのですが、実際に市と協働で行う時に、どのような形でやっていくが分かりません。例えば、4校で講演を実施したとのことですが、全体として何校で実施したいのか、また、年間に1校1回でいいのか、そのあたりが明確になると良いと思いますが、その点についてお考えがありますか。

- 考えています。小中学校は市内に全部で14校あります。例えば六年生の児童が一回（講演を）聞き、その後、中学生となって同じ話を聞かせるようなことはできないと思います。どうやって14校を上手くローテーションするかを考えなければならないと思います。

2020年と2021年はコロナの影響で実施できませんが、学校に講演要請の文書を毎年3月に出しています。何校かを3年に一度回ることができればと思っております。

学校のカリキュラムを組む時に、どの様に組んでもらうのか、学校の年間計画に位置付けてもらえるのかが必要なので、教育委員会の後押しがいただけると有り難いと考えています。

### ○ A委員

目標としてどれくらい回りたいのか、計画を出さないと市の方もなかなか協力できないと思います。

- 協働事業の取り組みの中で話し合いをさせていただきたいです。例えば、年間4校くらいが良いかと思います。

小学校と中学校ではレベルが違います。小学校向けの話、そしてレベルを上げて中学校向けの話をする必要がある。そして、児童・生徒が持つ大志をどのように実現していくのか、そのあたりまで話が出来たら良いと思っています。

### ○ A委員

このような取組が年に一回で足りるのかと思います。数年に一度のこのような機会有效果があるのでしょうか。生徒にとって、記憶も何をやったのかも曖昧になってしまう。それで効果があったのかとなると思います。

計画として出すのであれば、年に一回、毎年、年齢に応じた講演をするというスタンスで持ってもらい、やってほしいと思います。

ただもっと言えば、学校で行わないといけないのかなという疑問もあります。学校のカリキュラムもいっぱいだというお話もあります。学校はギチギチのカリキュラムの中で、3月に依頼がこられても困ると思います。そのあたりも踏まえて、準備をしっかりしないと上手くいかないと思います。

- ご指摘・お話しいただいたことを持ち帰って検討したいと思います。

令和3年度 北広島市市民協働推進事業  
公開プレゼンテーション及び事業報告会の内容及び質疑

○ B委員

北広島市の偉人というと、クラーク博士と中山久蔵、和田郁次郎といらっしゃると思います。北広島の特徴というか強みを生かすという意味でもこの3偉人を並行して講演するというお考えですか。

- 私たちの団体名に「久蔵の里」も入っていますし、その精神も伝える必要はあると思います。成人を対象とした講演では、橋本氏（中山久蔵を顕彰する会）に依頼して実施しており、それらの取組を通じて、我々クラーク会も吸収していきたいです。本来は、和田郁次郎も含め、3偉人をセットにやっていくことが必要であると思います。教育委員会の副読本の中でも3偉人について触れているが、ボリュームが少ないので、クラークについて講話しています。

■まいピー・ボールパークエコバッグの製作と市民抽選無料配布事業

「北広島さんぽまち商店会」による発表

《質疑応答》

○ E委員

さんぽまちから離れた大曲地区、西の里地区等ありますが、全市的にイベントを周知する方法は考えていますか。

- 店頭周知や道新の広告を考えている。問い合わせがあった時には、郵便局、JR北広島駅、東光ストア、コープエルフイン店などがあるので、そちらのほうに行っていただければ応募できると案内したいと考えており、できるだけ平等性を持ちたいと思っています。

○ A委員

このエコバックは誰に使ってもらいたいと考えていますか。北広島市民なのか、ボールパークをアピールするために近郊市外の方ですか。

- ボールパーク開業については、市民の方の認知度がまだまだ低いと思うので、市民の人を対象にしたいです。買い物で使うことで注目してくれればいいかなと思っています。大曲、西の里では認知度が低いので、大曲、西の里の商店会とタイアップできればいいですが、まずは団地地区の商店街から先行してやっていきたいと思っています。

○ A委員

枚数1,500枚というのは、どうやって決めたのですか。感覚的には、不足しているように思います。

- 事業予算の中で決めました。コストが安ければいいですが、ナイロン製だと環境に優し

令和3年度 北広島市市民協働推進事業  
公開プレゼンテーション及び事業報告会の内容及び質疑

---

くないのと、サイズがあまり小さいと使いづらいと思いこのマイバックにしました。

まだ開業には1年あるので、来年度も取組めると考えています。

**6. 閉会**